

なにいろがすき？

分類・小学校 低学年 学級活動

1 目標

色の学習を通して、固定的な考え方にとらわれず、自分が身に付けたいもの、自分が好きだと思うものに気付くことができるようにする。

一人ひとりの多様な個性を認め合うことができるようにする。

2 題材について

日本の社会では、色によって男女の別を表すことが少なくない。そんな環境の中で、児童も、知らず知らずのうちに、「赤色やピンク色は女の子の色」、「青色や水色は男の子の色」と、色によって男女を区別するようになると思われる。近年はランドセルの色も豊富になってきたが、ランドセル選びには今でもこの傾向が顕著にみられる。これは、児童自身よりもむしろ、祖父母や父母などが、「男の子は黒色。女の子は赤色。」という慣習にならって選ぶことに起因していると思われる。また、「みんながもっている色とかけはなれたものを選ぶと、「いじめられはしないだろうか。」とか、「みんなとちがうと心配」等の理由で、従来どおりの無難な色を選ぶ場合も少なくないようだ。そんな大人たちの中で生活しているうちに、児童の中に、知らず知らずのうちに、色についてのジェンダーバイアスが確立されていくと思われる。

ランドセルは両親や祖父母の期待や愛情がいっぱいつまった大切なものなので、導入部分（「色による男女の区別の実態把握」）でのみ使用する。

児童全員が自分の好きな色でバッグを塗ったり、黒板にはったりする活動を取り入れることにより、意欲的な学習への取組を促したい。

本時は「女色、男色はありません」とまとめる学習ではない。本時の学習がきっかけになって、身の回りの様々なジェンダーに気付き、性によって生き方を制約されず、自分や友達の個性を認め大切にしようとする態度に育つことを期待している。

3 準備物

赤いランドセルと黒いランドセル

赤いランドセルと黒いランドセルの絵

保護者の作文

ワークシート バッグ以外に、帽子や傘を取り扱ってもよい。

クレヨンまたは色鉛筆(12色) 児童が各自準備

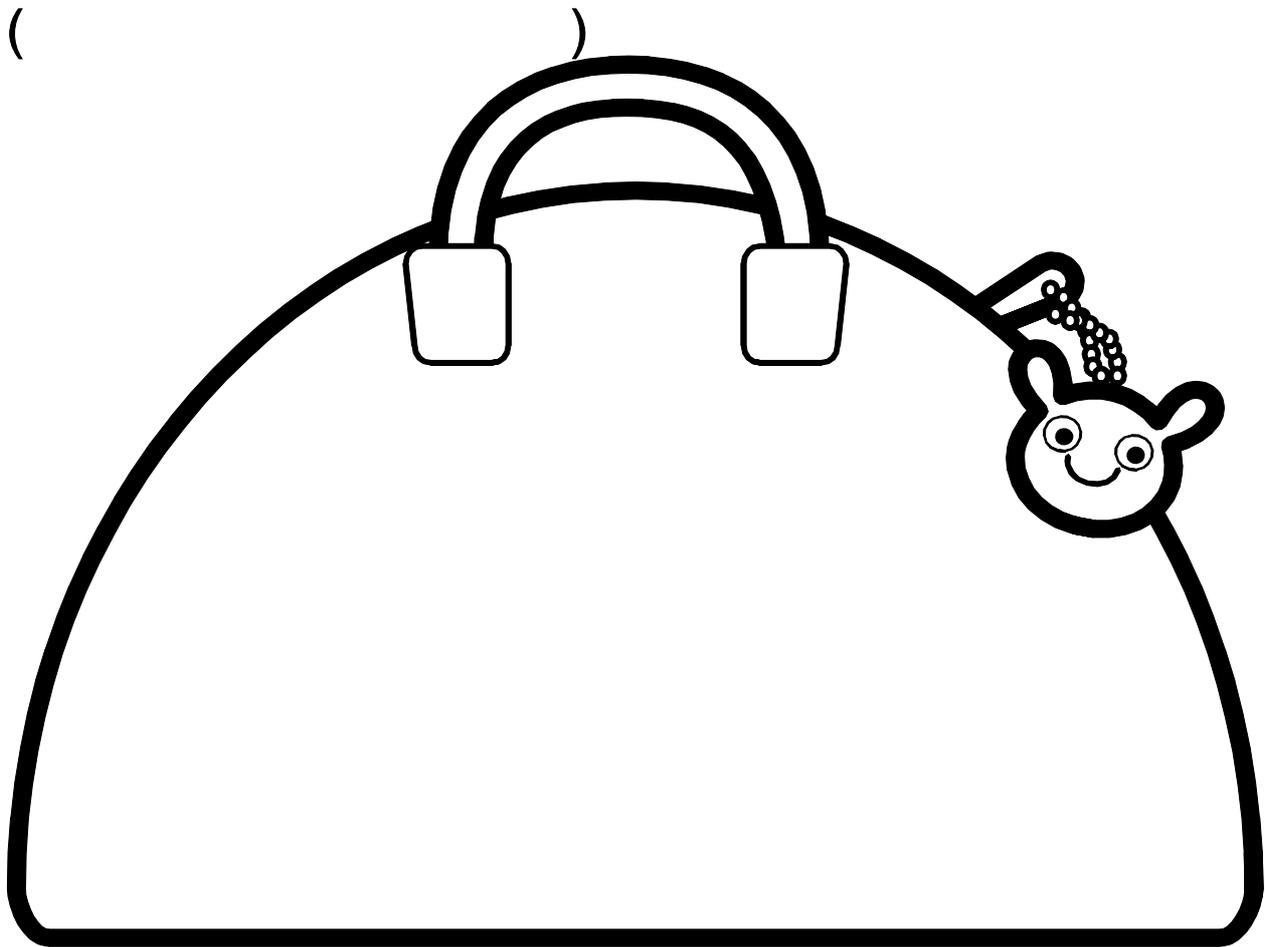
4 指導案

時間	学習活動	主な発問と予想される反応	教師の支援
10分	<p>1 ランドセルの色について話し合う。</p> <p>2 他に男女で色分けされているものについて考える。</p>	<p>何色が好きですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑色 ・ 黄色 <p>二人を見て、どう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何かへん。 ・ 女の子はやっぱり赤色。 <p>みんなのランドセルは何色かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしはローズピンク。 ・ ぼくは黒。 ・ 赤と黒ばかり。 <p>女の子(男の子)はいろんな色があるのに、どうして赤(黒)になったの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女の子はみんな赤だから。 ・ お兄ちゃんも黒だから。 ・ おばあちゃんが買ってくれた。 <p>他にも男の人と女の人とを色で分けているものがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの目印 ・ 上靴のゴムの色 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いつかない児童には、クレヨン(色鉛筆)の色を手がかりに考えさせたい。 ・ 黒いランドセルを背負った女の子と、赤いランドセルを背負った男の子を見て話し合う。 ・ ロッカーのランドセルの色を見比べることにより、男女が色で区別されていることを気付くことができるようにする。 ・ 可能なものはその場で確かめるようにする。
25分	<p style="text-align: center;">「じぶんのすきないろ」をみつけよう。</p> <p>3 12色の中から好きな色を選ぶ。</p> <p>4 選んだわけを説明する。</p>	<p>今日はバッグを好きな色でぬろうと思います。自分の好きな色のクレヨン(色鉛筆)を一本だけ選びましょう。</p> <p>選んだわけを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黄色です。明るい色だから。 ・ 水色。さわやかだから。 ・ 赤です。とても強そうな色です。 <p>みんなそれぞれに自分の好きな色があるのですね。すばらしいね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日は、12色の中から選ぶように助言する。 ・ ここでは、自分の理由が言えればよい。
5分	<p>5 バッグの絵に好きな色をぬる。</p>	<p>では、好きな色でバッグをぬりましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きれいにぬろう。 ・ もようをかいてもいいですか。 <p>ぬれたら男子と女子に分けて、黒板にはりましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女別に黒板にはり、色の確認をすることにより、色には「男の子色」や「女の子色」はないことを確かめさせたい。
5分	<p>6 まとめる。</p> <p style="text-align: center;">「男の子のいろ」「女の子のいろ」はない。みんなじぶんのすきないろをえらべばいい。</p>	<p>いろんな色のバッグができたね。</p> <p>「男の子だから...」「女の子だから...」ではなくて、みんな自分の好きな色をえらべると楽しいね。</p> <p>保護者の作文を聞きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランドセルの色は性別によって色が分かれていたけれど、自分のランドセルには両親や祖父母の期待や愛情がいっぱいつまっていることを忘れず、大切に使うようにさせたい。

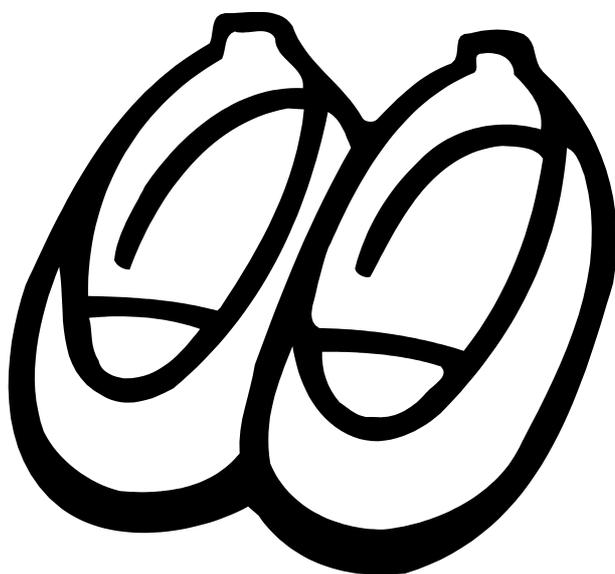
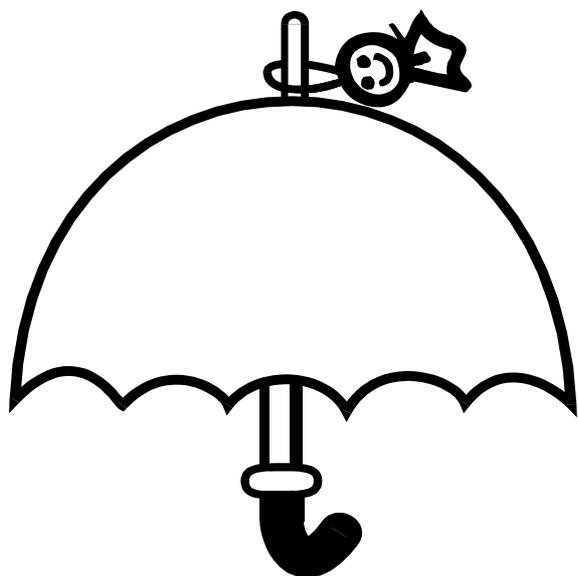
5 資料

(1)ワークシート

なまえ



「かさ」や「くつ」など、みじかなものでもくふうしてみましょう。



(4)板書

じぶんのすきないろをえらぼう。



赤

女の子



黒

男の子

男の子	女の子
・せいぼう くら	こん
・うわぐつ あお	あか
・水ぎいれ あお	あか
・せいふく くら	あお

女の子がぬった
バッグの絵

男の子がぬった
バッグの絵

「男の子のいる」「女の子のいる」はないよ。
じゆうにすきないろをえらばいいよ。

(5)児童が選んだ色(バッグ)

2色以上で塗っている児童がいるため、延べ人数で表示しています。

	赤	橙	黄	黄緑	緑	青	水色	桃	紫	茶	灰	パール オレンジ	黒	(計)
女子	1		2	1		1	8	4	4		1		4	13人
男子	3		2		1	7	3							17人

(6)ランドセルの写真(赤・黒)

